

第3回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議 報告

高知大学総合情報センター長 豊永昌彦

開催日時：平成20年9月11日（木）13：30～16：00

開催場所：高知大学メディアの森6階 メディアホール

参加者：北海道教育大学1名，北見工業大学1名，弘前大学3名，岩手大学3名，宮城教育大学1名，秋田大学4名，山形大学1名，福島大学1名，茨城大学3名，宇都宮大学3名，群馬大学1名，埼玉大学1名，千葉大学2名，東京外国語大学1名，東京農工大学3名，東京海洋大学3名，お茶の水女子大学1名，電気通信大学1名，横浜国立大学2名，新潟大学2名，長岡技術科学大学1名，富山大学1名，金沢大学3名，福井大学1名，信州大学2名，山梨大学1名，岐阜大学3名，静岡大学2名，浜松医科大学1名，豊橋技術科学大学1名，三重大学2名，大阪教育大学1名，兵庫教育大学1名，神戸大学1名，和歌山大学1名，鳥取大学4名，岡山大学1名，広島大学1名，山口大学1名，徳島大学1名，鳴門教育大学1名，香川大学2名，愛媛大学1名，佐賀大学4名，長崎大学2名，熊本大学1名，大分大学3名，宮崎大学1名，鹿児島大学1名，高知大学4名 計52大学88人

資料等：

1. 第3回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議及び第12回学術情報処理研究集会出席者名簿
2. 国立大学法人情報系センター長会議、研究交流・連絡会議開催校一覧
3. 第3回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議資料
4. 「第4回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議」及び「第13回学術情報処理研究集会」にかかる委員（案）
5. 学術情報処理研究No.12

会議次第：

1. 開会
2. 開会の挨拶 高知大学総合情報センター長 豊永 昌彦
3. 開催校挨拶 総務担当理事副学長 櫻井 克年
4. 議事
 1. 教育面に関する話題提供と意見交換
 2. 研究面に関する話題提供と意見交換
 3. サービス面に関する話題提供と意見交換

4. 運営面に関する話題提供と意見交換
5. 第3回国立大学法人情報系センター長会議への要望
「第4回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議」及び
「第13回学術情報処理研究集会」にかかる委員について
6. 閉会

議事内容：

教育面・研究面・サービス面・運営面について、事前アンケートの回答を参考に依頼した課題提供となる講演が行われた後、活発な意見交換や質疑応答及び討論を行った。

(但し、以下の報告は全ての報告を含むものではない。)

A. 教育面

(1) e-Learning システム/CMS の使用状況、運用と問題点

[問題提起]

- ・シラバスや履修登録システムと連携ない(横浜国大)
学務システムとの連携問題
- ・コンテンツ作成に多大な時間(北見工業大)
- ・LMS 利用者サポート体制弱い(富山大学)
- ・FD・ICT 教育推進室により 1, 2 年教育で LMS を全学利用. 高学年の利用頻度低い(金沢大)
- ・コンテンツ拡充・サポート負担・利用頻度の問題

[実践例]

○学務システムとの連携

- ・LMS(moodle)を学務情報と連携, 教室開講科目を供用して利用が拡大(東京農工大)
- ・moodle を導入, 全学部開講科目・履修情報を登録している(山梨大)
- ・自主開発 CMS(WebStudy), Moodle も他部局で個別に開発運用. e-Learning 支援室(センター内)で連絡調整・技術支援(鹿児島大)
- ・AIMS-Gifu(Academic Instructional Media Service)として本格稼働, 当初より学務情報と連携する. 情報戦略グランドデザイン策定, 実現体制を整備. (岐阜大)

○コンテンツ拡充・サポート・利用頻度

- ・一定の利用者が付き 2 年前にはライセンス数量制限からアップグレード(筑波大)
- ・Moodle を運用(教育学部は独自 Moodle), 利用教員率 18%程度を推定, 幅がある(宇都宮大)

[意見]

e-Learning(Moodle)の利用説明書が不足で人員面でサービス浸透が難しい(東京外大)

全学に広げると教員負担増，コンテンツ作成専門人員不足，学習効果補足など技術外の問題(神戸大)

(2) モバイル機器(ノートパソコン等)の使用状況、運用と問題点について

[問題提起]

- ・環境(設備，ソフト)提供，サポート体制，Update，セキュリティ対策

[実践例]

- ・情報セキュリティポリシー徹底，認証システム，ウィルスソフト導入，有線・無線アクセスポイント整備

[意見]

- ・モバイル機器の接続制限，認証システム整備中

[その他]

- ・メンテナンスの手間増，端末整備で学生所持不要

(3) 端末機器の OS (Windows Vista 等)、アプリ管理運用上の問題点

[問題提起]

- ・ソフトバージョン問題，不正ソフト管理問題，XP/Vista など OS 問題.

[実践例]

- ・業者委託，インストールソフトの定期調査・MS との包括契約，ハードディスクイメージ(雛形)配信，シンクライアント・ディスクレス端末導入

[意見]

- ・MS 系からの見直し必要，基本 XP で統一

[その他]

- ・アプリ選定の方法はどう決めているか.

B. 研究面

(4) 研究用計算機の運用

[問題提起]

- ・需要と大計センターとの関係，アプリ利用者増の取り組事例，利用者減への対策と利益者負担の学内調整

[実践例]

- ・新アプリ導入と講習会など利用促進で稼働率 60%達成
- ・分散するキャンパス計算機を 1 箇所集中化，構成変更・規模縮小，東大，京大，阪大，九大などを利用.

[意見]

- ・グリッドコンピューティングによるコスト低減と大計とセンターの使い分け

[その他]

- ・メンテナンスの手間増，端末整備で学生所持不要

C. サービス面

(5) 全学統合認証や IC カード導入等の運用事例について

[問題提起]

- ・統合認証現状，認証対象(常勤・非常勤・ゲスト)の問題
- ・IC カードとの連携

[実践例]

- ・LDAP 認証を部分的に導入，図書システムと連携，学務システムと連携検討，国立情報学研究所 UPKI の実証実験と連携.
- ・入退室に IC カード利用，IC カードで職員の GW 認証，学生証として IC カード発行.

[意見・その他]

- ・機器更新時に導入予定，身分整理に苦慮.
- ・高価な IC カード導入には長期戦略が必要. バーコードで十分.
- ・電子マネーとしてのみ導入

(6) グループウェアに関する取り組みとセンターとの関わり

[問題提起]

- ・全教員の同意はどのように得るか(弘前大)
- ・教職員の専用ポータルからグループウェア・メール利用できている事例は?(富山大)
- ・教職員用グループウェアの配備でスケジュールまでオープンしているか?(香川大)
- ・運用を担うのは，どの部局がよいか(鳴門教育大)
- ・費用対効果は?(三重大)

[実践例]：GW の現状・導入方法・効果

- ・教職員対象に講義・会議室の予約・学内回覧等(北見工大)
- ・センターと学生部等と連携して LMS・履修登録システム等を統合したポータルサイト構築，学生への事務連絡に活用。(金沢大)
- ・グループウェア(富士通製 TWO) 利用，センター担当事務部門が管理(高知大)
- ・メールの送受，会議室・公用車の予約，スケジュール管理等で使用(大分大)
- ・財務会計システムなど事務業務で導入. 一部センター教員作成に関与(鳥取大)
- ・適宜小グループによって運用，事務職員用独自開発システムを利用(山口大)
- ・小規模のものを導入済み. 事務部門で導入検討中(神戸大)
- ・事務部運営は独立，webmail 等、ワーキンググループで検討中(徳島大)
- ・以前導入したが現在は使用せず(浜松医科大)

[意見]

- ・ Google Apps などの導入を検討方針(山梨大)
- ・ オープンソース立上げ検討(熊本大)
- ・ 全学に 2 種類のグループウェアシステムの運用が非効率, 統合方向で協議難航. 教員の教育・研究活動が監視下に置かれることを懸念する声がある. (静岡大)
- ・ 複数の部署で異なるグループウェア運用, 今後企画へ関わる(長崎大)

(7) 迷惑メール対策について

[問題提起]

- ・ スпамフィルタ等で配信遅延・誤判定の性能問題, 誤判定時のリスク問題, 利用者への周知の問題

[実践例]

- ・ フィルタ専用サーバ導入, メールの隔離・タグ付けを実施, 利用者のメールソフトで対応するための技術支援.

[意見]

- ・ 80%は SPAM と見られる, スпам対策技術への利用者からの理解が必要.

(8) 学内ネットワーク(無線 LAN を含む)の保守・整備・更新について

[問題提起]

- ・ 継続的更新への予算確保問題, 全学情報化計画との連携問題
- ・ 無線 LAN 導入の問題, 利用者管理の問題

[実践例]

- ・ 学内長期計画に組み込んでいる, 概算と運営費の二通りの整備計画準備, リースで一時コストの低減.
- ・ 統一認証等の利用した無線アクセスポイント導入, 講義のみでの利用限定.

[意見]

- ・ 目的積立金の利用などが必要.

D. 運営面

D-1. センター業務における情報システム運用の効率化について

(9) 大学運営の情報化ビジョン等とセンターとの関わりについて

[問題提起]

- ・ 全学情報化におけるセンター役割の問題

[実践例]

- ・ 情報化基本計画の具体化, 仕様, 運用支援等で協力, 全学部局の傘下となり貢献, センター自主開発 DB 等で貢献, センターが情報最高責任者 CIO を支援(センター長が補佐)する体制. 外部資金の積極的導入に貢献.

[意見]

- ・ CIO の強力なサポート実現，学内委員会に参画，教育・研究・事務業務の環境インフラ整備担当.

(10) ネットワークサービス等センター業務のアウトソーシング

[問題提起]

- ・ 切分けが困難(茨城大)
- ・ 人員が不足(東京外大)
- ・ 費用的に困難では？(三重大)

[実践例]：業務切分け(アウトソーシング対象)

- ・ セキュリティ監視・対応はアウトソーシング実施(新潟大)
- ・ ネットワーク機器保守が対象. 教職員メールサービスは情報セキュリティとの関係で検討中 (山形大)
- ・ 自然災害時の事業継続，投資コスト最適化でセンター業務アウトソーシング化. データセンターをサーバアウトソーシングセンター (SBC) として移設開始. グリーン IT, 情報セキュリティ管理水準向上，投資コスト低減を図る. (研究集会で報告). (静岡大)
- ・ メールサービス外注化を検討. (佐賀大)
- ・ 非常勤から業務委託化で人件費削減. 実態は変わらない(鹿児島大)

[意見]

- ・ 費用の面で今以上の経費が必要，経費の確保が難しい，職員の管理技術が低下することからネットワーク等の安定運用の観点から問題(弘前大)
- ・ 中小規模大学ではかえってコスト高となるのではないか？(山梨大)
- ・ 慎重に切り分ける必要がある. (和歌山大)
- ・ WEB メールのアウトソーシングを検討中(岡山大)
- ・ 多種多様な機密情報についてメールサービスやファイルサービスなどは慎重に検討必要(広島大)

(11) ネットワークの維持管理の効率化（集中監視等）について

[問題提起]

- ・ 集中監視ツールの予算確保の問題

[実践例]

- ・ 基幹スイッチは稼働・死活を集中管理（監視），保守業者に委託，温度・トラフィック等も自動プログラム等で管理グループが監視. 接続状況も監視. Winny 検知も検討中.

[意見]

- ・ 維持管理のできる技術者が確保が必要，集中監視を検討中.

D-2. 人材育成について

(12) 人材の育成への組織的な取り組みについて(業務系も含む)

[問題提起]

- ・研修を生かせない問題, 研修を受ける時間確保の問題, 資格等の整備の問題.

[実践例]

- ・情報システム統一研修(総務省) 等で研修
- ・教職員の研修・学会活動の支援, 情報系授業へ出席可能に.
- ・ユーザ支援業務に絞って人材の育成

[意見]

- ・ICT スキル人材の継続的雇用の良策は?
- ・語学(留学生対策), コンテンツ作成の研修も必要.

D-3. 情報セキュリティについて

(13) セキュリティポリシーの運用と問題点について

[問題提起]

- ・策定したものの, 各部局での実施手順がない(茨城大)
- ・情報格付けで迷い(佐賀大)
- ・監査をした機関の方法や対象者の反応を報告いただきたい(鳥取大)
- ・PDCAサイクルは何をトリガーに見直しているか?(鳴門教育大)
実施の問題
- ・セキュリティポリシーの周知が不十分(旭川医科大)
- ・制定されているが、「お題目」的, 教職員ならびに学生への浸透度が低い(北見工業大)
周知の問題

[実践例]: 実施状況

- ・ISO27001 を取得. 更新に向けた作業を行っている(宇都宮大)
- ・対策基準まではできている. 実施手順書の具体的作成の段階(埼玉大)
- ・ポリシー策定, 情報セキュリティ委員会を発足. 運用体制は今後検討(東京海洋大)
- ・平成17年に定め, 運用中. 個人情報保護法を機に情報セキュリティ確保のための組織・システム運用(岐阜大)
- ・学長直下の情報管理室を中心としてITC戦略の策定, その枠組みの中で運用. 監査態勢は十分な体制でない.(神戸大)
- ・2004年11月にセキュリティポリシー策定, 年1回のセキュリティ監査を実施. 2008年1月より改定版作成検討中(徳島大)

[周知状況]

- ・平成17年度に作成, 昨年度 Web で情報セキュリティ現状調査実施, ポリシー見直し(弘前大)

- ・セキュリティポリシーに関するアンケート実施，集計報告と周知(大阪教育大)

(14) セキュリティ教育の現状と問題点について

[問題提起]

- ・教職員への教育の問題，教育用コンテンツ問題，講義で徹底は不十分.

[実践例]

- ・新入学生・職員採用時と定期的なセミナー・講義を実施，センター補助員へ教育徹底，e-learning コンテンツの教育に努める.

[意見]

- ・全学委員会で対応，セキュリティポリシと連動，
- ・講習会の参加者が少ない.
- ・CIO の理解を得るのが困難.

(15) 物理的セキュリティ対策の現状と問題点について

[問題提起]

- ・入室管理システムの寿命の問題，センター外の対策の問題，キャンパス間の管理問題.

[実践例]

- ・防犯カメラ導入で機器盗難防止，IC カードでレベルに応じた入室制限，IC カードで入室ログ蓄積，生体認証導入.

[意見]

- ・セキュリティポリシにあわせ全学基準を検討中
- ・警備会社と契約.

D-4. その他

(16) その他

[話題，意見等]

- ・七大学情報基盤センター等と連携した技術職員研修制度（1ヶ月程度）の可能性について(東京農工大)
- ・ISMS セミナー有志国立大学法人情報系センター持ち回りの主催で定期的開催。是非ご参加を（次回10月～11月東京町田で開催予定(静岡大)
- ・補助金削減の中，業務効率化，低コスト化で情報化推進がセンターに求められる。各校の取組み事例ご紹介いただきたい(香川大)
- ・専任教員が中心なので，協議会，センター長会議と異なる技術的観点の情報交換がよい。次回開催校に検討いただきたい(鹿児島大)

センター長会議への要望

「第4回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議」及び「第13回学術情報処理研究集会」にかかる委員について（案）が認められた。

次回の運営委員会と実行委員会・研究会誌発行の編集委員会の構成（案）について確認し、センター長会議へ提出する事とした。

第12回学術情報処理研究集会 報告

高知大学総合情報センター長 豊永昌彦

開催日時：平成20年9月12日（金）9：30～17：00

開催場所：高知大学メディアの森6階 メディアホール

研究発表論文数：21件（発表10分、質疑応答5分）

参加者：92名